

令和4年度事業報告書

自 令和4年4月 1 日

至 令和5年3月31日

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会
令和4年度 事業報告書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I. 概 況

令和4年度事業については、事業計画に則り公益目的事業と収益目的事業（賃貸事業）を実施した。公益目的事業については、科学技術に関する調査研究とその助成、国際交流に対する援助、新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰並びにこれらの普及・啓発に関する各事業を実施した。

財団の主たる事業である助成事業等については、科学技術に関する調査研究（自主事業）課題、科学技術に関する調査研究の助成課題、科学技術に関する国際交流への援助課題並びに新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰及び科学技術振興のための普及・啓発事業を実施した。また、財団広報誌の発行、ホームページ等により財団業務の知名度アップに努めた。

なお、これらの事業推進の一助として賃貸事業を行った。

II. 事業内容

1. 科学技術に関する調査研究の実施（自主事業）

1) 富士山体を利用したマイクロプラスチックの東アジア大気汚染の実態把握に関する調査研究

2) 社会課題の解決に資するメタバースに関する調査研究

以上の調査研究費の総額を20,200千円とした。

(課題内容は別表—1参照)

2. 科学技術に関する調査研究の助成

調査研究助成は、令和4年度上期5課題（応募総数5課題）、下期11課題（応募総数18課題）に対し総額32,974千円の助成を行った。

(助成課題は別表—2参照)

3. 科学技術に関する国際交流への援助

1) 国際研究集会等の参加への援助

①第1回新エネルギーに関する国際会議（ICNE2022）

②シンガポール国際化学会議

③アメリカ物理学会3月年会2023

以上の科学技術に関する国際交流に対し600千円の援助を行った。

(援助の態様等は別表—3参照)

4. 科学技術振興のための普及・啓発の推進

科学技術映像祭へ主催者として参加する等、科学技術推進・協賛事業及び研究奨励金等、総額8,647千円の支出を行った。

(行事の内容等は別表—4参照)

5. 収益（賃貸）事業

財団が所有している浜松町 NH ビル（地上8階、地下1階）及び同ビル別館（地上5階）の賃貸事業を行った。

浜松町 NH ビル （賃貸 6テナント・8フロア）

浜松町 NH ビル別館（賃貸 5テナント・5フロア）

6. その他

(1) 広報誌「新技術振興渡辺記念会だより」第9号（創立40周年記念号）を令和4年7月に、第10号を令和5年1月に発行した。

(2) 財団のホームページを、新規トピックスの掲載等により継続的に更新した。

III. 評議員会の開催

(1) 第15回評議員会

開催日時 令和4年6月27日（月） 14:00～15:35

開催場所 財団会議室 ハイブリッド会議

（東京都港区浜松町1-25-13 浜松町 NH ビル5階）

議決事項 1) 令和3年度決算報告書（案）の承認について

IV. 理事会の開催

(1) 第42回理事会

開催日時 令和4年6月10日（金） 14:00～15:15

開催場所 財団会議室 ハイブリッド会議

（東京都港区浜松町1-25-13 浜松町 NH ビル5階）

議決事項 1) 令和3年度事業報告書（案）の承認について

2) 令和3年度決算報告書（案）の承認について

3) 令和3年度公益目的支出計画実施報告書（案）の承認について

4) 第15回評議員会の招集の決定について

(2) 第43回理事会（臨時）

開催日時 令和4年9月30日（金） 14:30～15:15

開催場所 当財団会議室 ハイブリッド会議

（東京都港区浜松町1-25-13 浜松町 NH ビル5階）

議決事項 1) 令和4年度科学技術調査研究助成課題（下期）の採択及び助成金額の決定について

(3) 第44回理事会

開催日時 令和5年3月24日（金） 14:55～16:35

開催場所 当財団会議室 ハイブリッド会議

（東京都港区浜松町1-25-13 浜松町 NH ビル5階）

議決事項 1) 令和5年度事業計画書（案）について

2) 令和5年度予算書（案）について

3) 令和5年度科学技術調査研究助成課題（上期）の採択及び助成金額の決定について

4) 評議員選定委員会の外部委員（2名）の選任について

5) 評議員の候補者について

V. 科学技術振興課題審査委員会の開催

(1) 第23回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 令和4年9月14日(水) 13:00~14:40

開催場所 オンラインにより開催

議事事項 令和4年度科学技術調査研究助成課題(下期)の選考について

(2) 第24回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 令和5年3月8日(水) 13:00~14:50

開催場所 オンラインにより開催

議事事項 令和5年度科学技術調査研究助成課題(上期)の選考について

VI. 資産運用委員会の開催

第13回資産運用委員会

開催日時 令和4年8月26日(金) 15:00~17:00

開催場所 当財団会議室(東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル5階)

議事事項 1) 令和3年度決算報告書について

2) 令和3年度公益目的支出計画実施報告書について

3) 資産運用の「具体的な運用方針」について

4) 資産の運用状況について

VII. 科学技術調査研究助成課題の成果報告会

(1) 令和2年度下期他採択課題成果報告会

開催日時 令和4年4月19日(火) 13:30~17:05

開催場所 オンラインにより開催

報告課題数 13課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員等

(2) 令和3年度上期他採択課題成果報告会

開催日時 令和4年10月21日(金) 13:30~16:20

開催場所 オンラインにより開催

報告課題数 9課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員等

VIII. 「科学技術映像祭」への主催者としての参加

科学技術を正確にわかりやすく伝える優れた映像を選奨することにより、科学技術への関心を喚起するとともに、その普及と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上に資することを目的とする「科学技術映像祭」を他の3団体とともに主催している。

他の主催団体は、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団である。

第63回科学技術映像祭は、内閣総理大臣賞ほか14の賞が決定され、4月22日の表彰式において、新技術振興渡辺記念会理事長賞の授与も行われた。また、12月から1月にかけて第64回科学技術映像祭の募集が行われ、44機関、94件の応募があり、審査の結果、内閣総理大臣賞ほか13件が決定された。

IX. 評議員、役員

令和5年3月31日現在

評 議 員	役 員
臼 井 勲	理 事 長 高 木 喜一郎
岡 田 雅 年	専務理事 佐 藤 征 夫
鍵 山 眞由美	理 事 江 村 克 己
島 田 博 文	同 太 田 充 代
永 野 博	同 木 村 茂 行
平 澤 洽	同 下 田 隆 二
村 田 朋 美	同 白木澤 佳 子
村 野 和 雄	同 高 園 武 治
森 口 泰 孝	同 中 西 友 子
	同 水 本 伸 子
	監 事 片 山 泰 祥
	同 坂 田 東 一

令和4年度科学技術調査研究、調査研究助成、援助等に関する一覧

別表-1 科学技術調査研究の実施（自主事業）

交付番号	課題名	内容	実施機関等
R-R4-128	富士山体を利用したマイクロプラスチックの東アジア大気汚染の実態把握に関する調査研究	<p>人間活動の増大により、多量のプラスチック廃棄物が環境に放出されてきており、特に5mm以下のマイクロプラスチック (MicroPlastic: MPs) の環境への影響が注目されている。</p> <p>海洋での MPs の研究が進められているが、大気中の MPs については、海洋に比べて研究例が少なく、大気中の MPs の挙動は不明の点が多い。また、環境に排出されたプラスチックゴミの劣化速度は水中よりも大気中で数十倍速いことが知られている。紫外線が強い上空では巻き上げられた MPs は劣化速度が速い可能性があり、MPs の環境中での動態に影響を与える可能性が高い。</p> <p>本調査研究では、対象を大気中の MPs (AMPs) に絞り、特に降雪によって環境にもたらされる AMPs を中心に行うが、富士山頂等における MPs のデータは、東アジアの高山で唯一のデータであり、その結果は世界的にもインパクトがあると考えられる。なお、比較のために従来のフォールアウト、エアロゾル、降水・霧水等についても調査研究を行う。</p>	認定 NPO 法人 富士山測候所を 活用する会
R-R4-129	社会課題の解決に資するメタバースに関する調査研究	<p>メタバース（仮想空間）を利用した技術が、未来社会の潮流として現実社会から仮想空間への拡張、人の健康や能力の拡張などを実現する技術として期待され、関連技術の開発が全世界で進められている。</p> <p>今後のメタバースの関連技術の将来展望について以下の項目について調査研究を行う。</p> <p>(1) メタバースを構成するテクノロジーの現状と動向</p> <p>① VR（仮想現実）</p> <p>② デジタルツイン(物理空間との同期(センシング技術など))</p> <p>③ デジタル価値流通技術（NFT など）</p> <p>(2) 社会課題の解決への活用状況と展望</p> <p>① バリアフリー社会の構築</p> <p>② 都市設計・社会インフラ構築</p>	(一社)科学技術 と経済の会

		③ 企業活動への適応 (3) 考慮すべき課題 ① 法整備および制度設計 ② 社会規範、行動様式 ③ 「ヒト」としての社会との関わり方	
--	--	--	--

別表-2 科学技術調査研究の助成

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
S-R4-553	デジタル技術による情報伝達の新領域の提案 — 暗黙知の伝達のための Virtual Reality 技術の適応—	宮城大学
S-R4-554	我が国独自の測位衛星「みちびき」の ASEAN と豪州における効果的な利用可能性調査	(一財) 日本宇宙フォーラム
S-R4-555	プラスチック製品のマテリアルリサイクル高度化と課題解決に向けた推進プラットフォーム形成に関する調査研究	(公財) 全日本科学技術協会
S-R4-556	コロナ禍の科学館での SDGs 等社会的テーマの科学技術教育の手法に関する調査研究	(公財) 日本科学技術振興財団
S-R4-557	ポストコロナ時代における国際研究交流に関する調査	(公財) 未来工学研究所

(上期 5 課題)

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
S-R4-558	科学技術イノベーション政策プラットフォームの構築に関する調査	政策研究大学院大学
S-R4-559	洋上風力発電立地の社会的合意形成に必要な影響評価及び立地プロセスの研究	福岡大学
S-R4-560	新しい文化を作る研究提案が可能な研究者のキャリア形成における多世代交流の重要性	筑波大学
S-R4-561	資源パラドックス問題の解決に向けた「関与物質総量データベース」の構築	立命館大学
S-R4-562	共用品を事例としたソーシャル・イノベーションの実装過程に関する調査研究	文教大学
S-R4-563	科学に対する意識・態度の実態把握を目的とした国際調査 ROSES の国内実施	九州大学
S-R4-564	気候市民会議をベースとした市民の行動変容の分析と関連する政策の立案・推進	早稲田大学
S-R4-565	衛星リモセン及び衛星測位を用いた海洋プラスチックごみの状況把握技術の調査	(一財) 日本宇宙フォーラム
S-R4-566	アジア及び環太平洋地域における科学技術の研究公正推進と専門人材の育成	(一財) 公正研究推進協会

S-R4-567	社会の福利を志向する技術者育成（ポジティブエンジニアリング教育）の可能性の検討	（公社）日本工学教育協会
S-R4-568	脱炭素社会実現における地方創生施策での適用技術に関する調査研究	（一社）科学技術と経済の会

（下期 1 1 課題）

別表-3 科学技術国際交流の援助

交付番号	名 称	態 様	援助対象者
R4-65	第 1 回新エネルギーに関する国際会議(ICNE2022)	国際研究集会等参加助成（オンラインにより参加）	山梨大学 大学院 総合研究部 クリーンエネルギー研究センター 教授 犬飼 潤治
R4-66	シンガポール国際化学会議	国際研究集会等参加助成	山口大学 大学院 創成科学研究科 工学系応用科学分野 准教授 川本 拓司
R4-67	アメリカ物理学会 3 月年会 2023	国際研究集会等参加助成	弘前大学 大学院 理工学研究科 助教 関 貴一

別表-4 科学技術振興のための普及・啓発の推進

交付番号	名 称	態 様	主催者、表彰者等
W-R4-86	科学技術調査研究助成課題成果報告会 （令和 2 年度下期他採択課題） 開催日：令和 4 年 4 月 1 9 日 開催場所：オンラインにより開催	助成課題 成果報告	（一財）新技術振興渡辺記念会
W-R4-87	科学技術調査研究助成課題成果報告会 （令和 3 年度上期他採択課題） 開催日：令和 4 年 1 0 月 2 1 日 開催場所：オンラインにより開催	助成課題 成果報告	（一財）新技術振興渡辺記念会
IP-R4-49	「技術経営・イノベーション」推進事業 ①「第 1 0 回技術経営・イノベーションシンポジウム」の開催 開催日：a;令和 4 年 6 月 2 日 b; 9 日、c; 1 6 日 会 場：a;日比谷図書文化館日比谷コンベンションホール、オンラインより開催 b、c;オンラインにより開催 ②「第 1 1 回技術経営・イノベーション大賞」の表彰 開催日：令和 5 年 2 月 1 3 日	科学技術 推進事業 協賛	（一社）科学技術と経済の会

	会 場：如水会館及びオンラインにより開催		
IP-R4-50 ～51	第47回井上春成賞 研究奨励金贈呈 (2件) 開催日：令和4年10月27日 会 場：国立研究開発法人 科学技術 振興機構	研究者表 彰後援	井上春成賞委員会 研究代表者 須川 成利 氏 (東北大学 未来科学技術共同 研究センター教授) 相原 秀典 氏 (公財)相模中央化学研究所 副理事長 所長)
IP-R4-52	第64回科学技術映像祭	科学技術 推進事業 主催	(公財)日本科学技術振興財団 (公社)映像文化製作者連盟、 (公財)つくば科学万博記念財団 (一財)新技術振興渡辺記念会